

平成28年11月のきになる通信



中古住宅購入時リフォームに補助金！

- ・政府は、平成28年度第二次補正予算を閣議決定。40歳未満の人が自宅用として中古住宅を買って省エネリフォームをした場合、もしくは省エネリフォーム済みの中古住宅を購入した場合に、最大で65万円を補助。
 - ・インスペクション（住宅診断）を実施することや既存住宅売買瑕疵保険に加入することなどが条件。
 - ・補助額65万円の内訳は、インスペクションに5万円、省エネリフォームに45万円、耐震改修に15万円。
 - ・省エネリフォームは、ペアガラスや二重窓、断熱改修、節水カーテン等の採用や高効率給湯器の取り替え等。
 - ・中古戸建て住宅でも中古マンションのどちらでも可能。
 - ・その他今回の国交省予算の中に、持ち家を省エネリフォームした場合に30万円補助、耐震基準を満たさない住宅の除去や建て替えに対する補助、耐震改修について補助額を現在から30万円上乘せなどが盛り込まれています。
- （2016年10月1日 大阪木材仲買協同組合新聞記事から抜粋）



給湯器など事故800件 長期使用の点検制度対象

火災目立つ

- ・ガス風呂釜や石油給湯器など、購入時に住所を登録すれば点検の通知が届く「長期使用製品安全点検制度」の対象となっている9製品を巡る事故が、今年3月までの5年間に834件。10年以上使い続けた製品による火災が目立ち、死亡事故は5件。
 - ・所有者の登録率は累計で38%。10年以上使い続けた製品の事故は499件。給湯器など石油機器3品目で計255件、風呂釜や瞬間湯沸かし器などガス機器4品目で計217件、食器洗い機と浴室用乾燥機の電気機器2品目で計27件。
- （2016年10月30日 日本経済新聞記事から抜粋）



家バリアフリー化に介護保険

最高18万円給付／状態重くなれば上乘せも

東京消防庁によると、高齢者（65歳以上）を救急搬送した際の事故原因で最も多かったのが転倒（81%）で、うち転んだ場所が住居だった例は57%に上ります（2015年）。

公的介護保険には住宅改修費用を援助する制度があります。対象者は要介護または要支援と認定され、在宅で暮らす人。

1人につき申請できるのは、改修に要した費用でみて20万円（限度基準額）まで。費用の原則9割が介護保険から給付。最高18万円を受け取ることができます。

費用が20万円に達するまで何度でも申請できます。

初めての改修で着工した日と比べて3段階以上あがると、もう一度、20万円の給付枠が設けられる仕組みです。もうひとつは、後で転居したケース。引っ越した先で新たに20万円の給付枠が設定されるので、改めて改修をすることができます。

要介護・要支援と認定されている人は6月末で約625万人。65歳以上の第1号被保険者の2割弱です。

A. 給付金の対象になる主な改修工事

手すりの取り付け	廊下、便所、浴室、玄関通路などが対象
段差の解消	居室、廊下、便所、浴室、玄関などで敷居撤去やスロープ設置、床かさ上げ
床面の材料変更	居室や浴室、便所、通路などが対象。滑りにくい材質に変更
扉の取り替え	開き戸を引戸、折り戸などに交換。ドアノブの変更や戸車の設置も
便器の取り替え	和式から洋式への取り替え、便器の位置・向きの変更
その他付帯工事	手すり設置のための壁下地補強、浴室の段差解消に伴う給排水設備工事

B. 手続きの大まかな流れ

相談	ケアマネージャーらと改修計画を話し合う
⇒工事費算定	施工業者に見積書を作ってもらう
⇒事前申請	見積書を含む書類を市町村に提出
⇒申請確認	審査を経て市町村から通知書が交付
⇒工事	支払いは償還払いか受領委任払いで
⇒事後申請	領収書など必要書類を市区町村に提出
⇒給付	審査通過後、給付金が指定口座へ

（2016年10月29日 日本経済新聞記事から抜粋）



住まいのきになる - 屋根 その4

症状 - 変色してきた

☆考えられる原因

・経年変化により、屋根材表面の塗膜がはがれたり、劣化したものと考えられます。

☆診断の準備

・高い所から落下したり、屋根を見上げていてつまずいたりする恐れがあり危険です。

・危険を感じたら無理をせずに、施工業者に見てもらいましょう。

・屋根工事は高所作業です。プロに任せましょう。

☆対処

ペンキを塗るか表面塗装を行います。

①ビニールシートなどで周囲を養生します。事前に隣家にも連絡し、車や自転車を養生します。

②古い塗膜をワイヤーブラシやサンドペーパーなどで取り除き、泥やほこりを箒やブラシを使って落とします。

③油がついている場合は、シンナーかベンジンで拭き取ります。

④ペンキよりも水性塗料による塗装の方が簡単です。塗るときは梯子から遠い場所から始め、だんだんと梯子へ近づくように塗ります。

⑤細かい所を刷毛で塗った後、平らな面をローラーで塗ります。乾燥させてからもう一度重ね塗りをします。

(参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」)

